

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門			
No.	所在県市町村	地区名	取組の概要
4	広島県尾道市	カンキツスタンドオレンジ	 店舗で販売しているジュースなど ・様々な柑橘が生産されている瀬戸田地区が抱える、生産者の高齢化、柑橘加工品の販売先確保等の課題解決の取組。 ・地元の株式会社Stapleが令和4年7月から瀬戸田の柑橘を専門に扱うジューススタンドをJR尾道駅1階に開業。農家と直接取引を行い現在23種類の柑橘ジュースを販売。令和4年度売上は10,800千円。 ・取引生産者は3軒から10軒まで増加。店舗販売以外に広島市内や都内でのイベントに積極的に出店し、瀬戸田の柑橘をPR。
7	徳島県鳴門市	かぶしきがいしゃほんけまつら株式会社本家松浦酒造場	 連携している上勝町の棚田など ・酒造会社が県内の様々な関係者と連携して行う取組。 ・平成元年から原料を全て徳島県産にした日本酒の製造や平成24年から徳島県上勝町の棚田米を使用した日本酒、ゆこう使用のリキュールの製造の取組を通じ、生産者と連携。近隣の醤油蔵と連携した見学会を実施。令和4年度は直売所来場者15,876人、売上は26,000千円。輸出にも取り組む。 ・大阪国際万博等のインバウンド需要を見据え、YouTubeなどで酒蔵地域周辺を案内する多言語化動画の配信やHPを作成。
8	香川県さぬき市	いっぽんしゃだんほうじん一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会	 オープンしたピザ店 ・津田地区の海辺を中心としたエリアリノベーションと農泊の推進。 ・使わなくなった漁業倉庫や空き家への新規出店希望者の誘致、移住者支援を実施。令和4年に市と連携し地域おこし協力隊制度を活用した新規出店(ピザ店)をきっかけに出店増加。応募時点で4店が開店し今後も開店予定。 ・地域おこし協力隊募集の際、採用者以外の応募者も協議会等がサポートし、家族を含む9名が市内に移住。
11	高知県香南市	いのうえ井上ワイナリー株式会社	 地域の方々と収穫作業 ・高知の気候・風土に適したブドウ品種を選び、県内各地の生産者と一緒に栽培し、県内各地の様々な料理と合うワインを醸造し高知の新しい食文化を提唱。 ・平成24年に南国市で定植以来、栽培を5市町に拡大。耕作放棄地も再生。地元の老人クラブや高校生に収穫やラベル作りの手伝いを依頼。 ・令和3年に自社醸造を開始、令和4年にショップを併設。ワインの試飲・販売、地域食材使用のグロスリー商品等販売。売上は令和4年度で61,822千円。
コミュニティ・地産地消部門			
No.	所在県市町村	地区名	取組の概要
1	鳥取県境港市	さかいみなと中野漁村市実行委員会	 盛況の中野港漁村市 ・地域を巻き込んだ沿岸漁業振興。 ・沿岸漁業者(小型底曳網)が中心となり鮮魚を直売。平成25年から令和4年までの間、漁村市を28回開催。現在は年4回毎回1500人前後が来場。消費者と直接交際を交わして魚の特徴、調理方法を伝え、効果的に魚食普及。仲買と連携し、ふるさと納税返礼品を提供。 ・地元高校は市を課題研究の場として市に協力。地元水産関係企業へ就職する生徒も。園児には売り場見学やタッチングプール等の食育も実施。
2	島根県安来市	シバザクラの会	 シバザクラを背に田んぼJAZZライブ ・永田集落農地・水保全管理活動組織を中心に行ってきた棚田のシバザクラ植栽活動、農村景観による都市との交流の広域展開、更なる地域活性化のため令和4年度設立。シバザクラ9万本、花桃500本を植栽。 ・春に「猿隠高原シバザクラ祭り」を開催。SNS等で積極的な情報発信を行い4年度は約4,000人來場。関係人口増と地域活性化に効果。 ・地元大学と連携しインターンシップ受入も開始。地域のブランド米の販路を拡大し、4年度は約7.6t販売して1,600千円の売上。
3	岡山県備前市	いっぽんしゃだんほうじん一般社団法人みんなでびぜん	 アマモ流れ藻を回収する中学生 ・海洋教育や体験を通じ海の大切さを子供たちと学ぶ。 ・日生町では漁協、小中高生、消費者等が協力しアマモ場を再生。アマモ場や再生活動を海洋教育の土台とし、地域内外の学校や市民、様々な業種の人々が地域や世代、立場を超え共に取組む。 ・海洋プラチックごみも、子どもたちと拾い、どこから流されてくるか一緒に考え、ごみを使ったアート作品を作る。学校で海ゴミについて事前学習を行い、ここ(現場)へきて学ぶことが増加。令和4年度の海洋教育と体験の参加者数は2,532人。
5	山口県岩国市	かぶしきがいしゃしんとう株式会社神東ファーム	 レモンの会発足当時のメンバー ・平成30年、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊員とレモン栽培を構想中「後発組は希少価値の高い新品目で勝負」とマイヤーレモンを選択。 ・栽培方法を習得後、同協議会の部会「レモンの会」を発足し、借り受けた耕作放棄地を開墾。行政の支援で(株)神東ファームを設立。 ・地元銀行等の支援を受け、地元大手スーパーや老舗旅館など県内販路が定着。果汁100%の「そのまんまのマイヤーレモン」も今年から販売し千数百本が完売。令和4年度の収穫量は7t、売上は3,400千円。
6	徳島県三好市ほか	いっぽんしゃだんほうじん一般社団法人そらの郷	 伝統的な農作業ツチアゲ体験 ・世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による所得向上、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。 ・体験型教育旅行は、都市部中学生・高校生の受入家庭での農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。 ・農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアーによるインバウンド誘致が、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティの面で高く評価されている。

9	愛媛県 西条市	えひめけんりつたんばらこうとう 愛媛県立丹原高等 学校草花班		・地域を花木の一大産地とするため産官学民が連携し、苗の生産技術を確立する取組で、苗生産が不安定な品目の穂木～発根～出荷のプロセス構築の研究を同校が担当。 ・同校の菊栽培技術を応用し平均19%の発根率が62%と有効性を確認。挿し穂の直径や挿し木時期による違い、地元JAと連携した生育環境での違いも調査。農家に還元可能な技術として成果は県東予地方局の「花木栽培マニュアル」に掲載し普及。地域では花木を主とした新規就農者も誕生。そのほか花木のPR活動も実施。
10	愛媛県 宇和島市	きぎょうくみあいししま 企業組合津島あぐ り工房「あすも」		・平成15年創業。地域の豊かな農水産物の加工品・惣菜など製造販売。地域農産物の需要拡大と、地域経済活性化による成長持続型活動を展開。 ・平成24年「企業組合津島あぐり工房」として法人化。農家レストラン「あすも」をオープン。令和4年度の売上は42,000千円。スタッフが創業当初の4人から9人に増え、令和4年から廃校活用の新店舗に移転。 ・平成30年西日本豪雨災害の教訓で始めた月一回の「ふれあいモーニング」は1日100人以上が来店。地域コミュニティの場に。
12	高知県 津野町	のうそんこうりゅうせつ もり 農村交流施設「森の 巣箱」運営委員会		・住民の声をきっかけに、廃校となった旧小・中学校の校舎を活用し平成15年に設立した「森の巣箱」は、集落コンビニ、居酒屋、宿泊施設を備えた複合交流施設。 ・安定経営のため、運営費用は各世帯の出資金、世帯毎に毎月「購買協定」を締結。宿泊施設で得た外貨も活用し補助金に頼らない運営。施設職員(常勤1名、パート1名)以外住民も役割分担。 ・イベント開催や修学旅行生受入も実施。令和4年度の売上は、コンビニ1,636千円、居酒屋1,282千円、宿泊施設3,039千円。
個人部門				
No.	所在県 市町村	氏名		取組の概要
13	徳島市 阿波市	てらい みのる 寺井 稔		・平成24年に発足した阿波市の農業後継者グループ「GOTTSO阿波」の中心メンバーとして活動。 ・農業や野菜の魅力発信、所得向上や農業人口増加を目指した活動、野菜の出張販売や広報を行い、地域のナスをブランド化。ナス好きの子供を増やそうと地元幼稚園や小学校で食育実施。 ・グローバルGAP等を取得し2020東京オリ・パラの選手村へブランドナスを納品。それをきっかけに輸出、新たなブランド野菜育成に努める。